



別寒辺牛

2011年8月発行
NO.26

今年のタンチョウの子育ては？

毎年4月から卵を抱き始める観察館前のタンチョウのつがい。今年もカメラの正面に巣を作り、卵をあたため始めました。ところが、ヒナが生まれる予定日を過ぎて動きがなく、数日後、とうとう巣を放棄してしまいました。理由はわかりませんが、卵が死んでいてヒナが生まれなかったようです。というわけで、今年は観察館からの子育て観察はできないかな、と思っていたところ、別寒辺牛川河口に合流する支流、尾幌川の付近でヒナを2羽連れたつがいを発見！どこに巣を作っていたのかさっぱりわからないのですが、線路周辺をうろうろしてはこちらをハラハラさせながらも、無事に2羽のヒナを育てています。この2羽には、先日、タンチョウ保護グループのみなさんが、大捕物の末、165番と166番の脚輪をつけました。このまま秋まで順調に育ったら、冬には内陸の給餌場で見つけられるかもしれません。

現在、観察館からは、観察館前をなわばりにしているヒナを連れていないつがいと、尾幌川周辺をなわばりにしているヒナを2羽連れたつがいを見ることができます。湿原の植物が茂って隠れていることも多いですが、ぜひ観察館に足を運んでみて下さい。湿原の中をゆったりと歩くタンチョウの姿が見られるかもしれません。



厚岸臨海実験所の実習船「みさご丸」で観察会



「海のお話会」（サンゴ礁からアマモまで）

やちっこクラブ始まっています！

平成21年度から始まった小中学生の自然体験クラブ「厚岸湖・別寒辺牛湿原やちっこクラブ」。今年度は16人のキッズレンジャーが集まり、町内の四季折々の自然を楽しんでいます。6月には北海道大学厚岸臨海実験所の実習船「みさご丸」に乗船して大黒島周辺の海鳥やアザラシの観察に行き、7月には別寒辺牛川をカヌーで下って夏の湿原を探索しました。今年度もまだまだ楽しいプログラムを企画しています。年度の途中からの参加も可能ですので、ご興味のある方は水鳥観察館にお問い合わせ下さい。



開会式！



大黒島に向かいます！



大黒島の灯台



夏のカヌー

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

あっけし みずどり かんさつ かん

厚岸水鳥観察館

☎088-1140

北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ6番地

TEL (0153)52-5988 FAX (0153)53-2121

E-mail: bekan@tiara.ocn.ne.jp

URL: <http://www.akkeshi-bekanbeushi.com/>